折尾駅南側駅前広場が生まれ変わります

- 一般車とタクシーの乗降場等が使えるようになり、駅利用がさらに便利になります
- かつて駅前にあったバス乗り場が全面リニューアルします
- 駅改札からの屋根付き通路により利便性が向上します
- イベント時にステージとなる多目的ベンチを新たに設置します
- 北側と南側の駅前広場で一体的なイベント開催等が可能になります

※ おりお未来21協議会や学識経験者、障害者福祉団体、警察、交通事業者などの意見を伺いながら、令和元年10月に駅前広場の計画をまとめました。

駅前広場の計画の概要

（1）規　模

北側 9,800㎡、南側 8,020㎡、合計 約 18,000㎡

（2）基本方針

「交通機能」と「交流・シンボル機能」の二つの機能を持った駅前広場とする。

（3）交通機能の配置方針

〇地域の交通実態に即した、利用しやすい駅前広場とする。

・バスは南側に集約し、分かりやすくする。

・北側は一般車とタクシーが利用するものとし、送迎しやすい駅前広場とする。

（4）交流・シンボル機能の配置方針

〇新しい市街地の発展に寄与する広場とする。

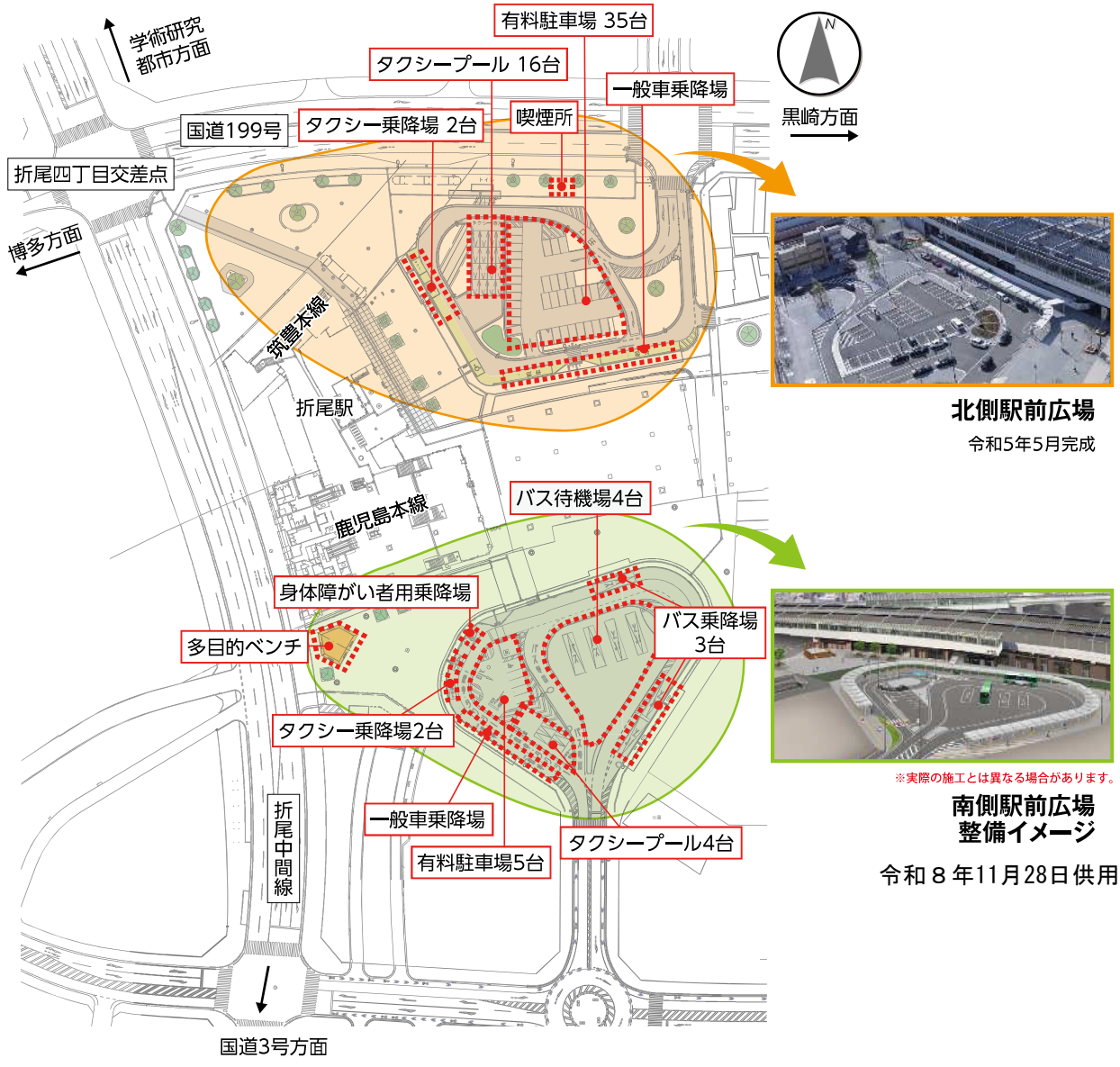
・イベントを通じたまちの活性化

・学生や近隣住民が憩える場の提供

・「学園都市」の名にふさわしい、豊かな景観形成によるまちのイメージ向上

駅前広場の計画図

※この計画図は、今後の設計や施工の段階で一部変更の可能性があります。



令和８年11月28日供用